

錦華公園改修整備

錦華公園は、関東大震災後の震災復興公園として整備され、昭和4年に開園し、昭和42年の全体的な大改修より約50年、近隣のみなさんの憩いの場として親しまれています。現在、錦華公園では、隣接するお茶の水小学校・幼稚園の建替え工事にあわせて改修整備を計画しています。

改修整備においては、より一層地域の方々や公園利用者に愛される公園となるよう、オープンハウス（意見聞き取りの場）や意見交換会を開催し、地域のみなさん・利用者のみなさんと一緒に、計画案を考えていきます。

錦華公園の概要



所在地：千代田区神田猿楽町一丁目1番2号

面積：2,759㎡

- ・大正13年（1924年）換地確定（震災小公園として小学校とともに建設することが決まる）
- ・昭和4年（1929年）開園 震災復興小公園として東京市が整備
- ・昭和25年（1950年）千代田区に移管
- ・昭和42年（1967年）公園改修整備
- ・平成5年（1993年）お茶の水幼稚園暫定設置
- ・平成15年（2003年）トイレ改修整備

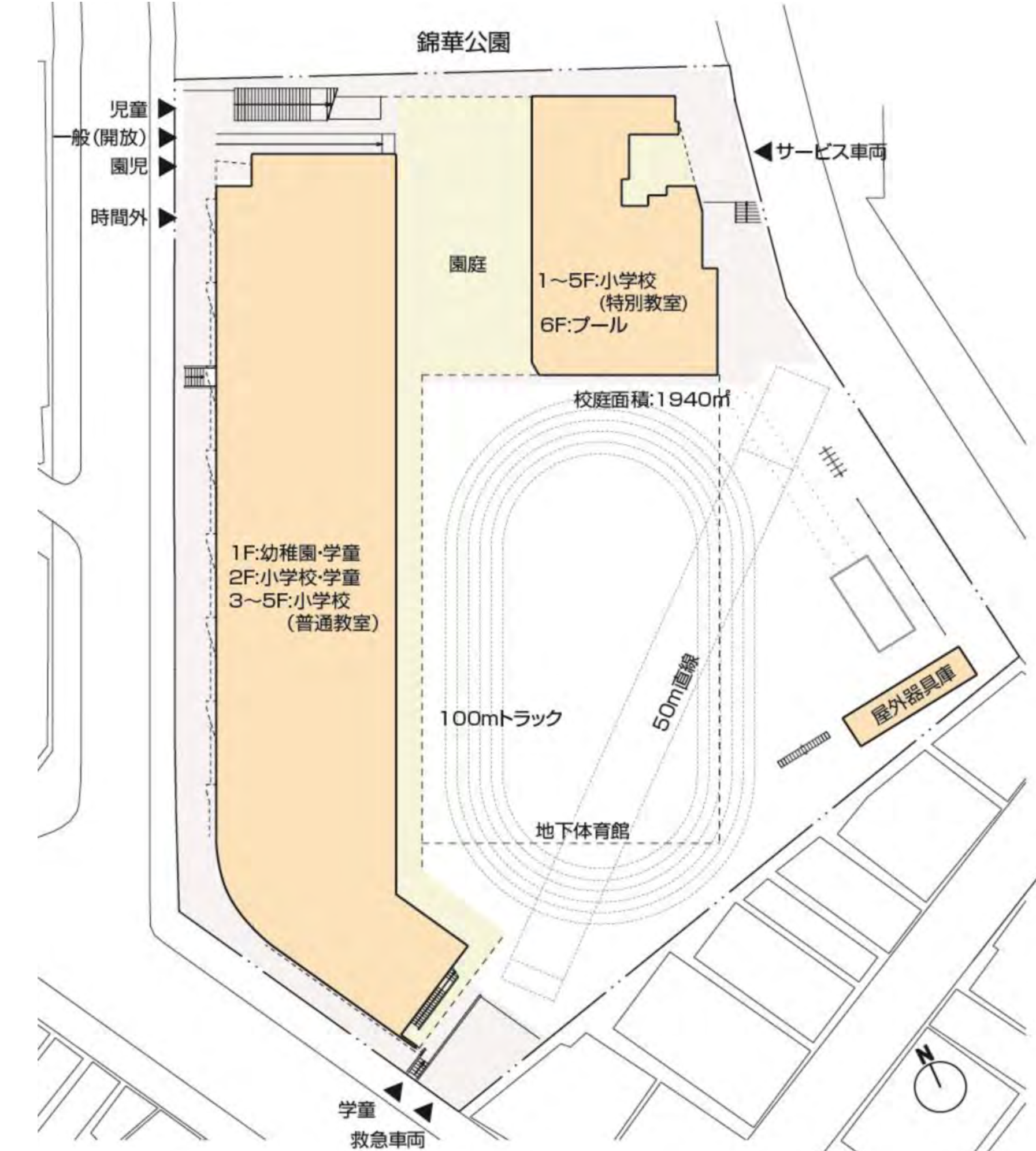
※震災小公園とは？

- ・大正12年の関東大震災後、東京市が帝都復興計画に基づき被災区域内52箇所に都市計画的に整備した街区公園
- ・鉄筋コンクリート化により不燃化、耐震化された小学校に併設して設置
- ・小学校の運動場補助、地域の休養施設、避難施設、延焼防止機能等も兼ね備えた公園

○錦華の由来

錦華とは、錦坊学校と華族学校とを意味したものである。明治9年華族学校（現在の学習院）が設立されるまでは華族学校のような感じがあったからと言われている。錦坊学校とは、錦華小学校の改称する前の名称で、「錦町にあった関係上、京都風にならって」（坊とは都城制の一区画、すなわち町の意味）の呼称である。 ※諸説あり

お茶の水小学校・幼稚園の整備概要



敷地面積	4,850㎡
構造・階数	RC造 地上6階地下2階
延べ床面積	約13,500㎡
容積率	約280%（500,600%）
最高高さ	普通教室（猿楽通り沿い）側 23.95m 特別教室（錦華公園）側 31.61m
階構成	1階 幼稚園、アフタースクール 2階 小学校校長室、職員室、アフタースクール、多目的ホール 3階 小学校普通教室、特別教室 4階 小学校普通教室、特別教室 5階 小学校普通教室、特別教室 6階 プール 地下1階 給食調理室 地下2階 体育館
入口	幼稚園 猿楽通りから園庭（ピロティ）を通り1階入口へ 小学校 猿楽通りから2階アプローチデッキを通り昇降口へ

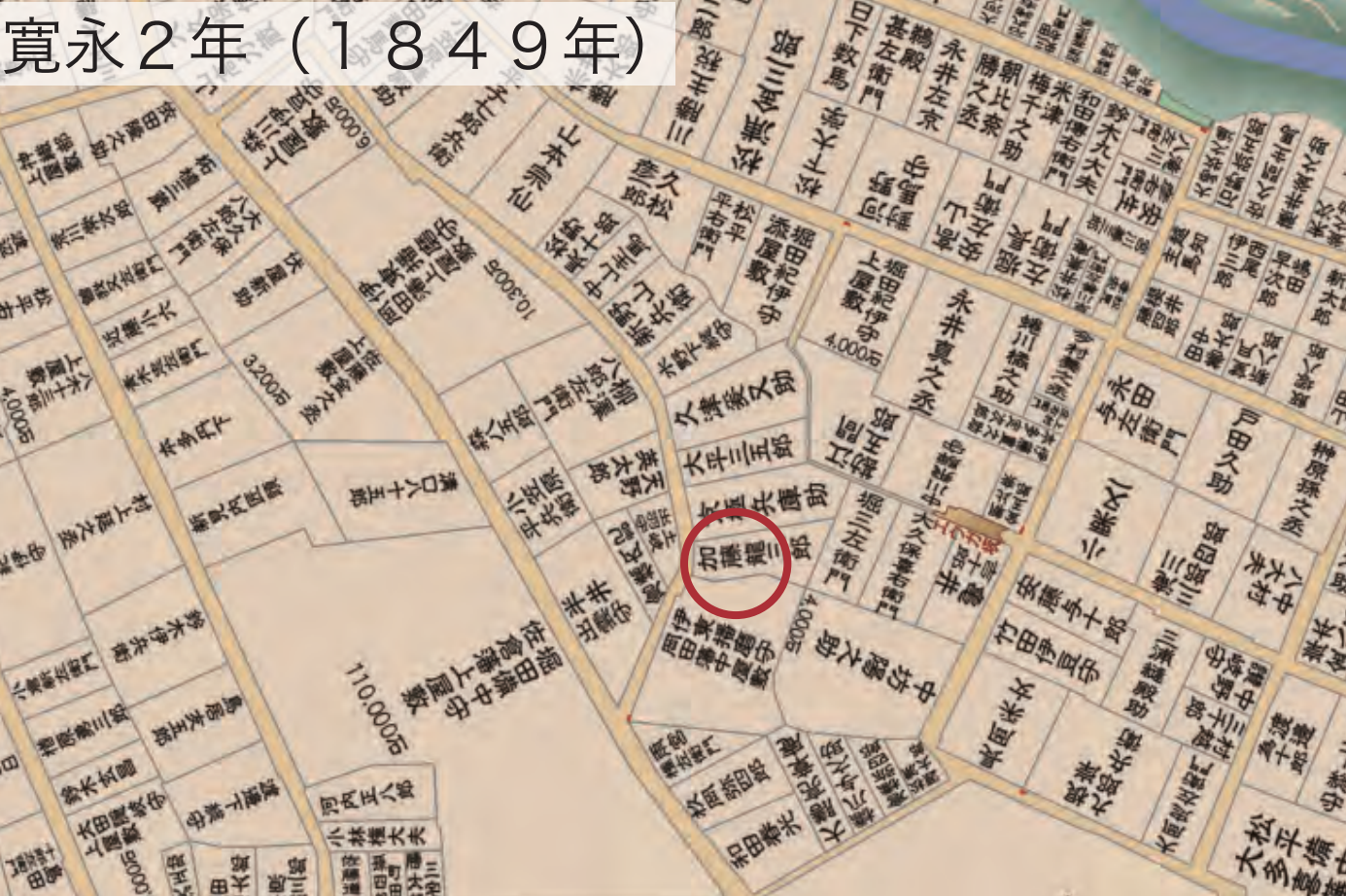


錦華公園整備のスケジュール



錦華公園の歴史

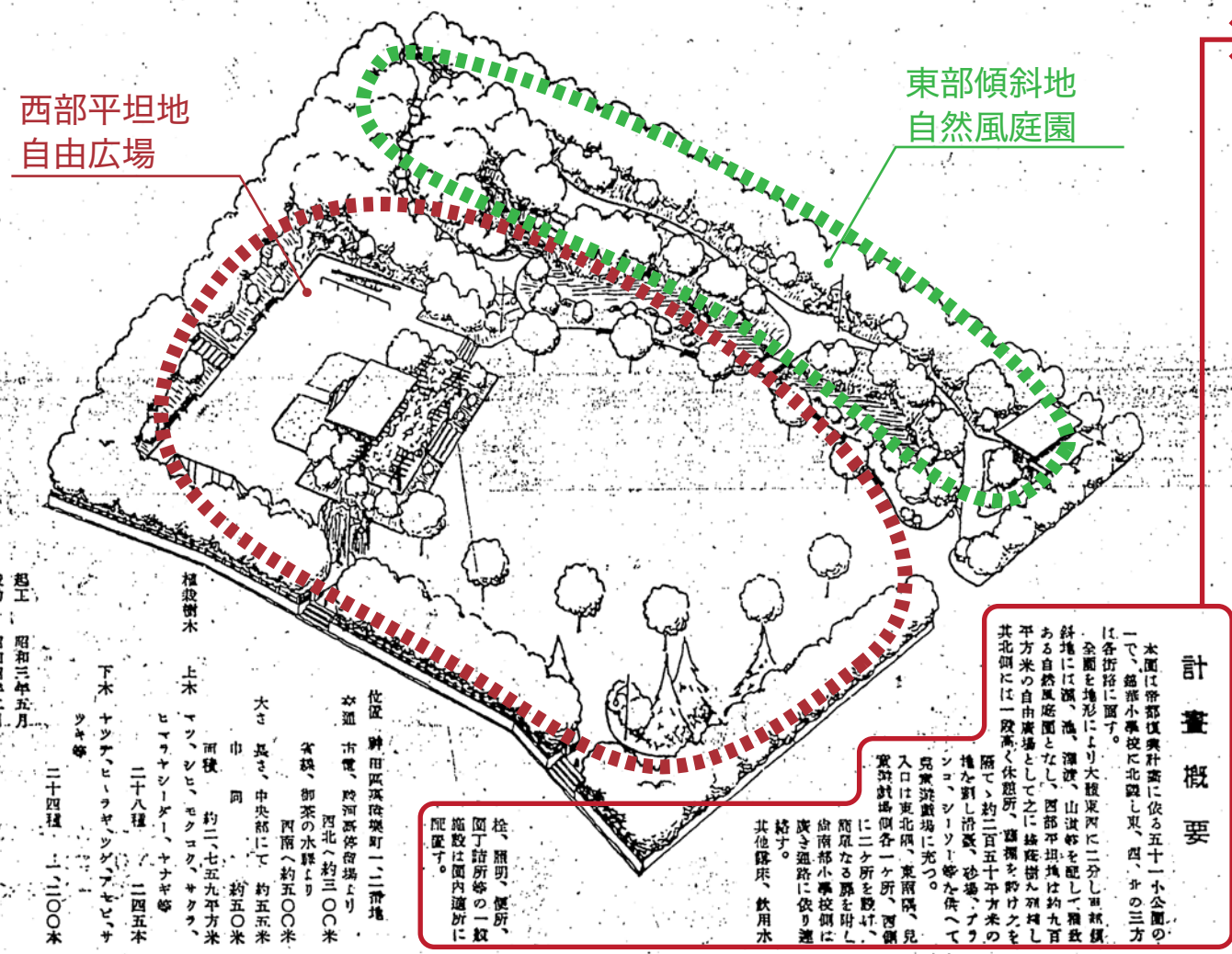
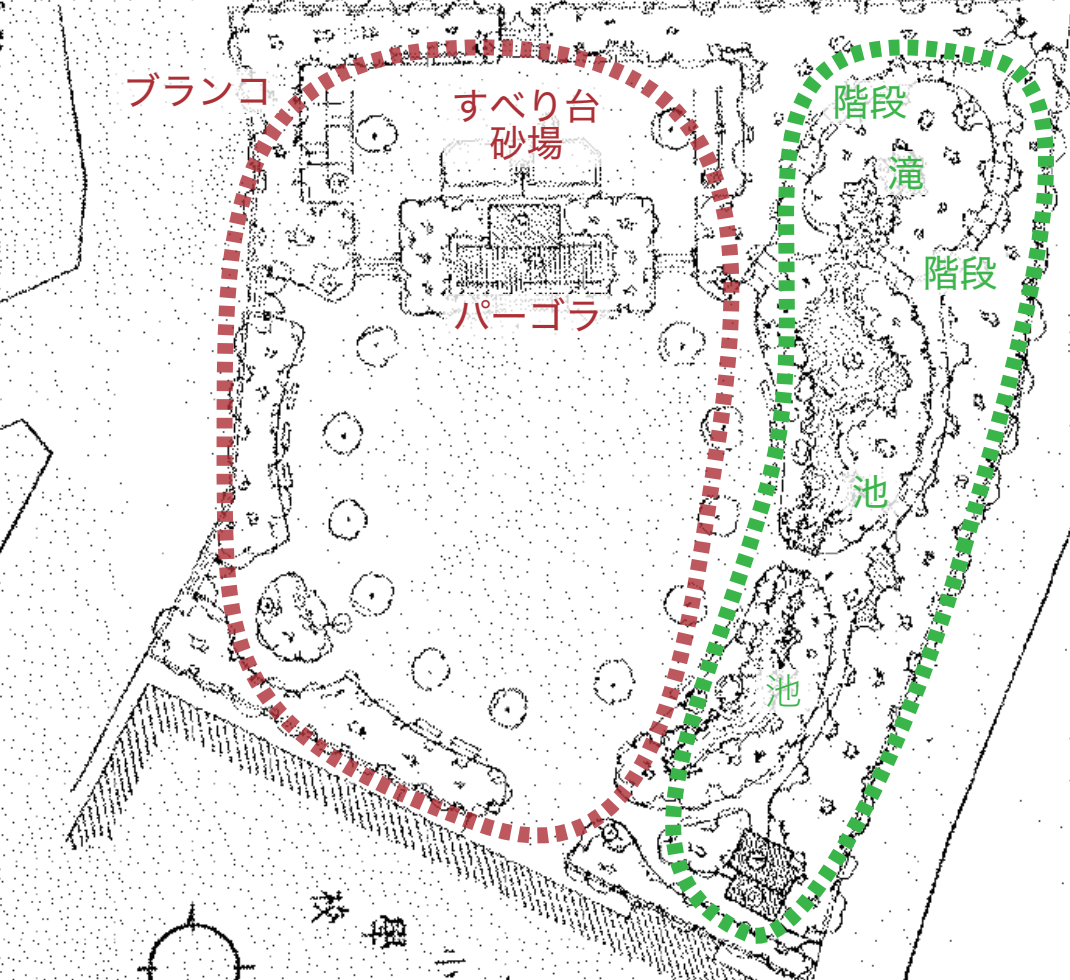
錦華公園 開園前の様子



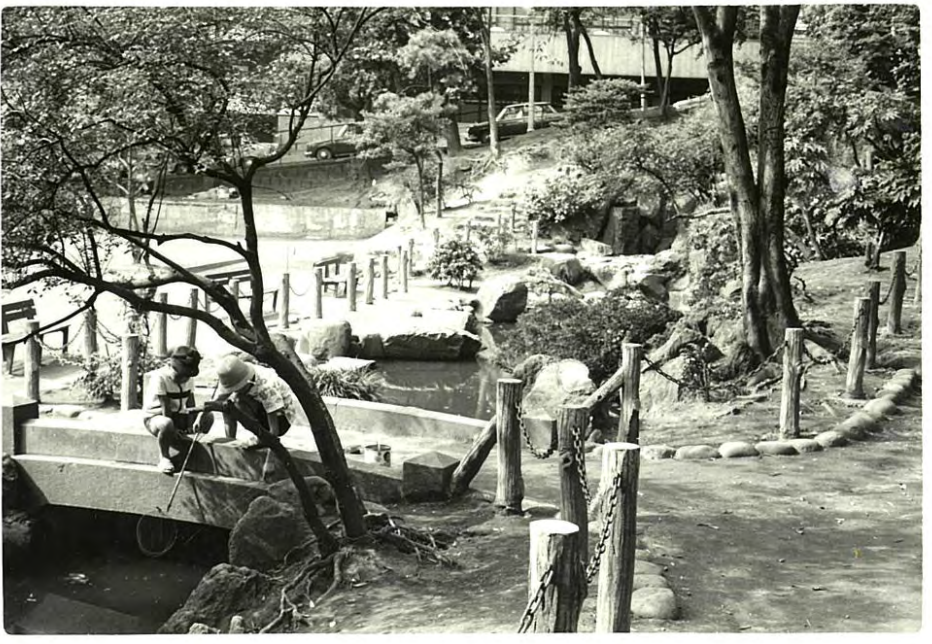
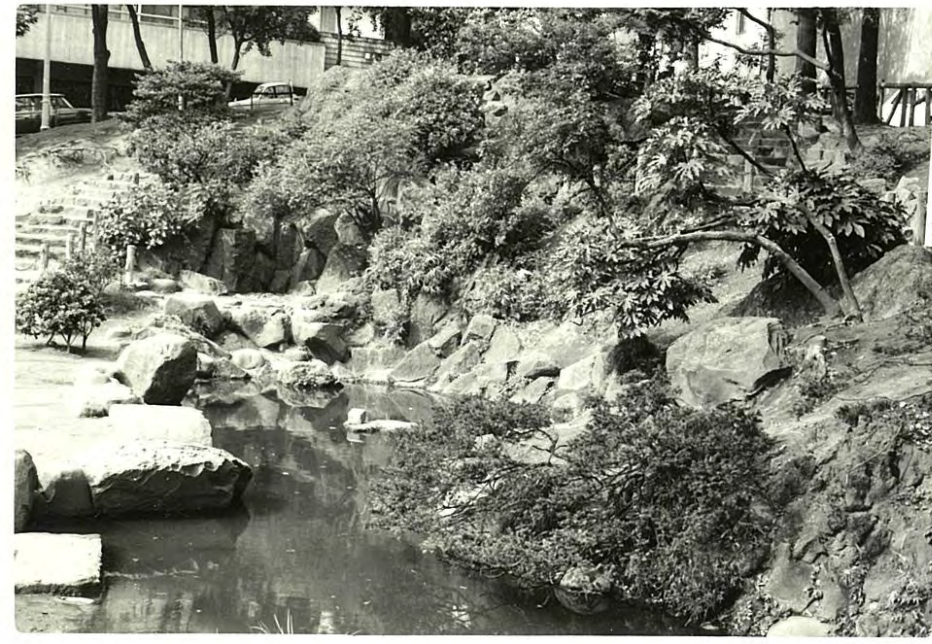
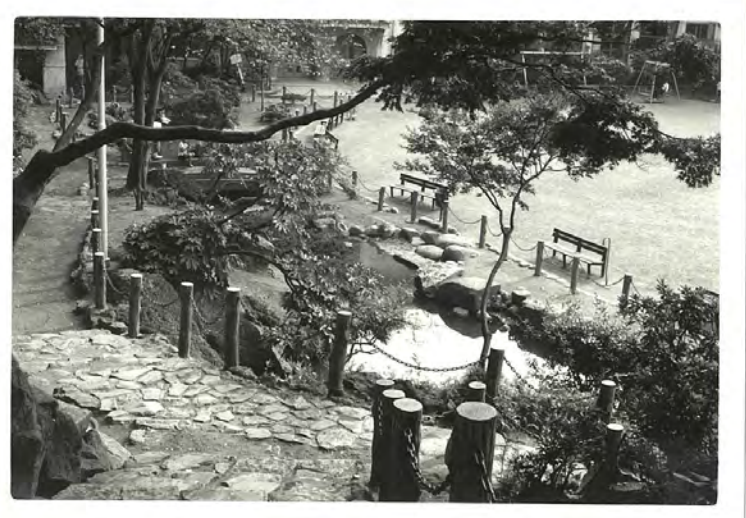
周辺は、おもに武家屋敷が軒を連ねていた。

錦華公園 開園後の様子

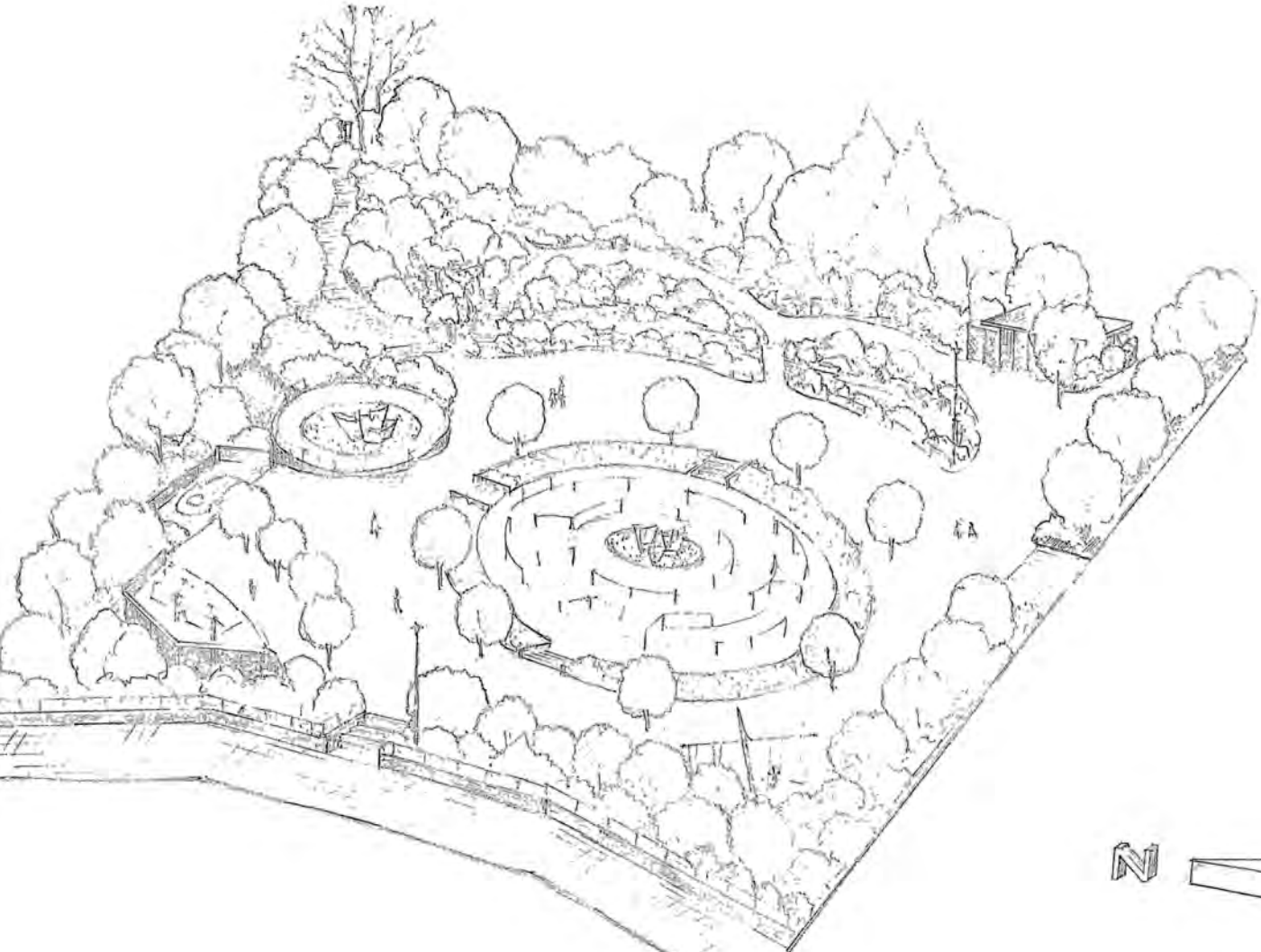
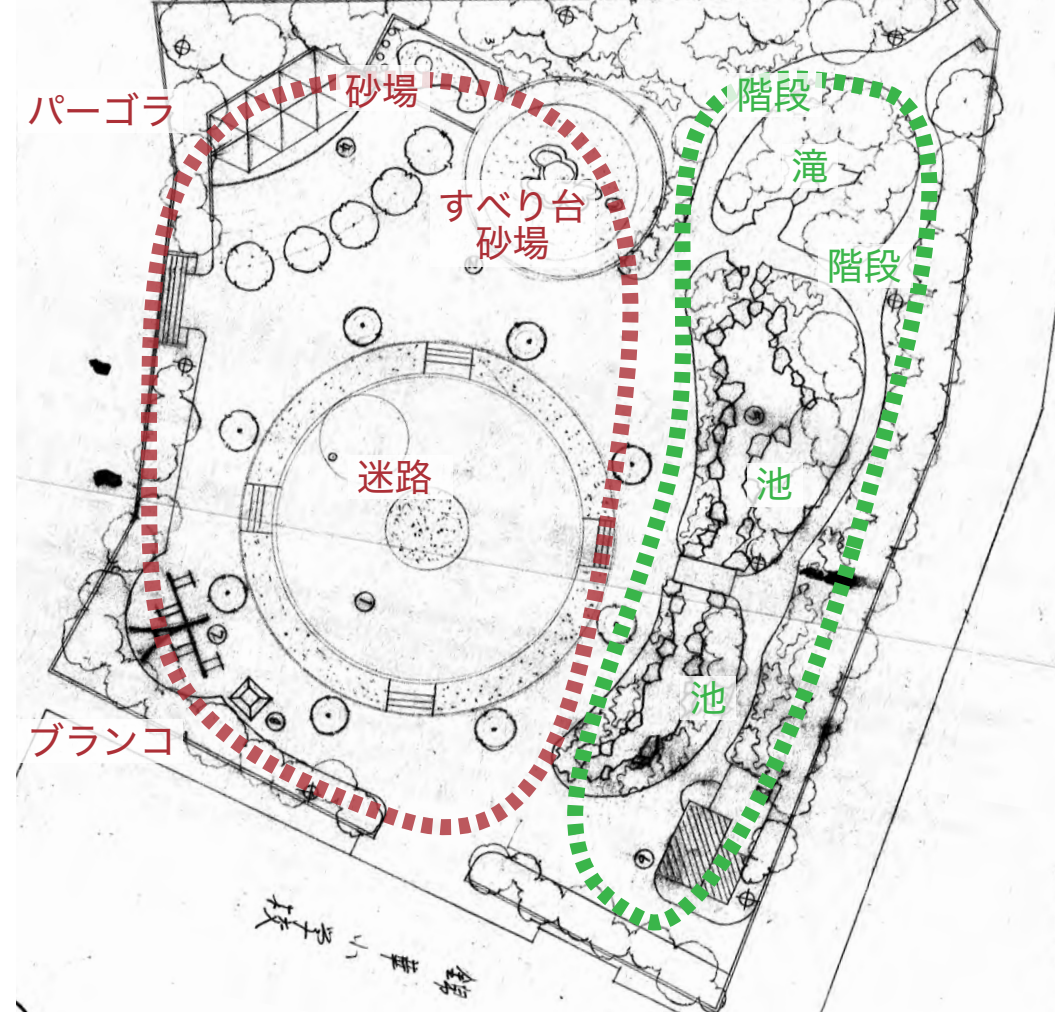
昭和4年（1929年） 開園当初



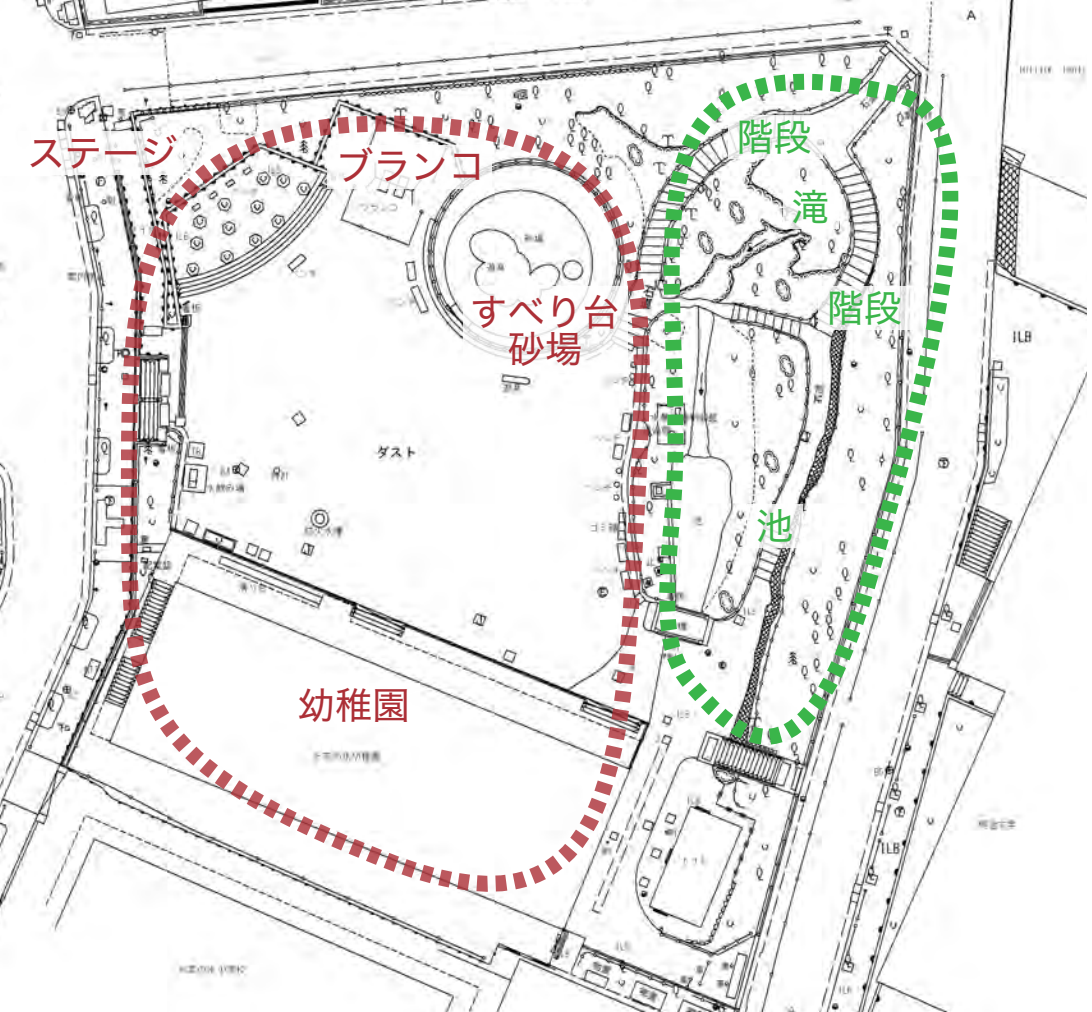
昭和4年～昭和42年の写真



昭和42年（1967年） 公園改修



平成5年（1993年） ～幼稚園仮園舎設置



震災復興小公園として、開園した当初は、東部傾斜地を自然風庭園、西側平坦地を自由広場として計画されている。現在まで、東部傾斜地は自然風庭園の面影を残しながら、西側の自由広場は、時代に合わせ形や使い方が変化している。

アンケート調査結果・第1回意見交換会

錦華公園の周辺の地域のみなさまへアンケート調査を行いました。また、お茶の水小学校・幼稚園にもこどもアンケートを配布しました。

地域アンケート調査結果

対象者：公園近隣 4 町会 配布数：3,414 通 回答数：580 通 回答率：約 17 %

- Q. 錦華公園の利用頻度は？
→子どもは“月に数回以上”の利用が 80%、大人も約 40%と利用頻度は高く、幅広い世代に利用されています。
- Q. 望ましい錦華公園の改修規模は？
→“全面的改修”、“部分的改修”について、概ね同数の意見でした。
- Q. 錦華公園の樹木について
→“なるべく残した方がよい”、“専門家の意見を基に整理”の2つの意見が多い傾向にありました。
- Q. 将来錦華公園をどのような公園にしたいですか？
→各世代とも“子供たちが安全に遊べる”、“自然と触れ合える”、“休憩やみんなが憩える”、公園を望まれる意見が多い結果となりました。(右グラフ)

- 質問【どんな公園にしたいですか】
- 1. 緑豊かで自然と触れ合える公園

■ 2. 休憩やみんなが憩える公園

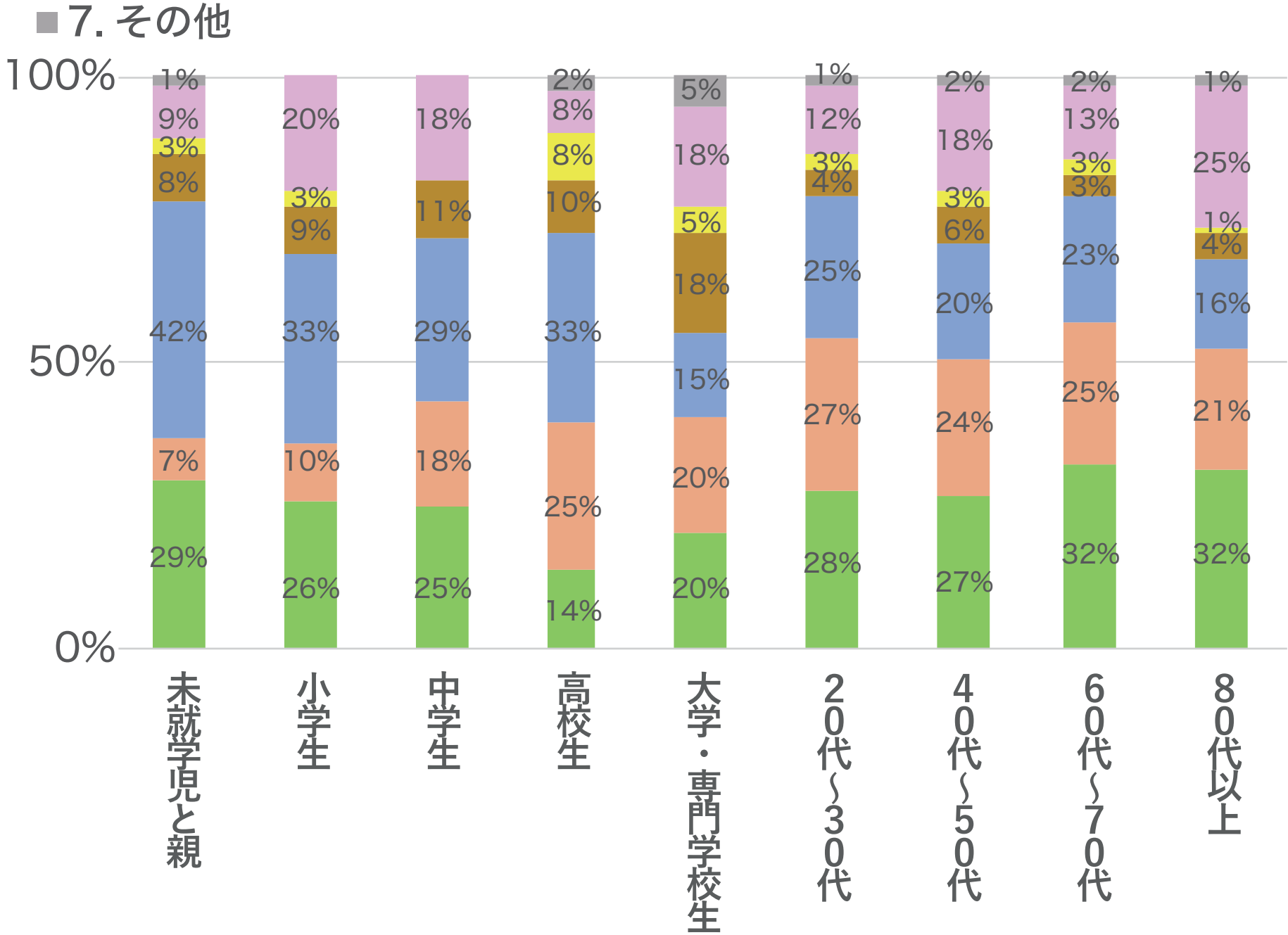
■ 3. 子どもたちが安全に遊べる公園

■ 4. スポーツや健康づくりのできる公園

■ 5. イベントもできる広場のある公園

■ 6. 災害時に活用できる公園

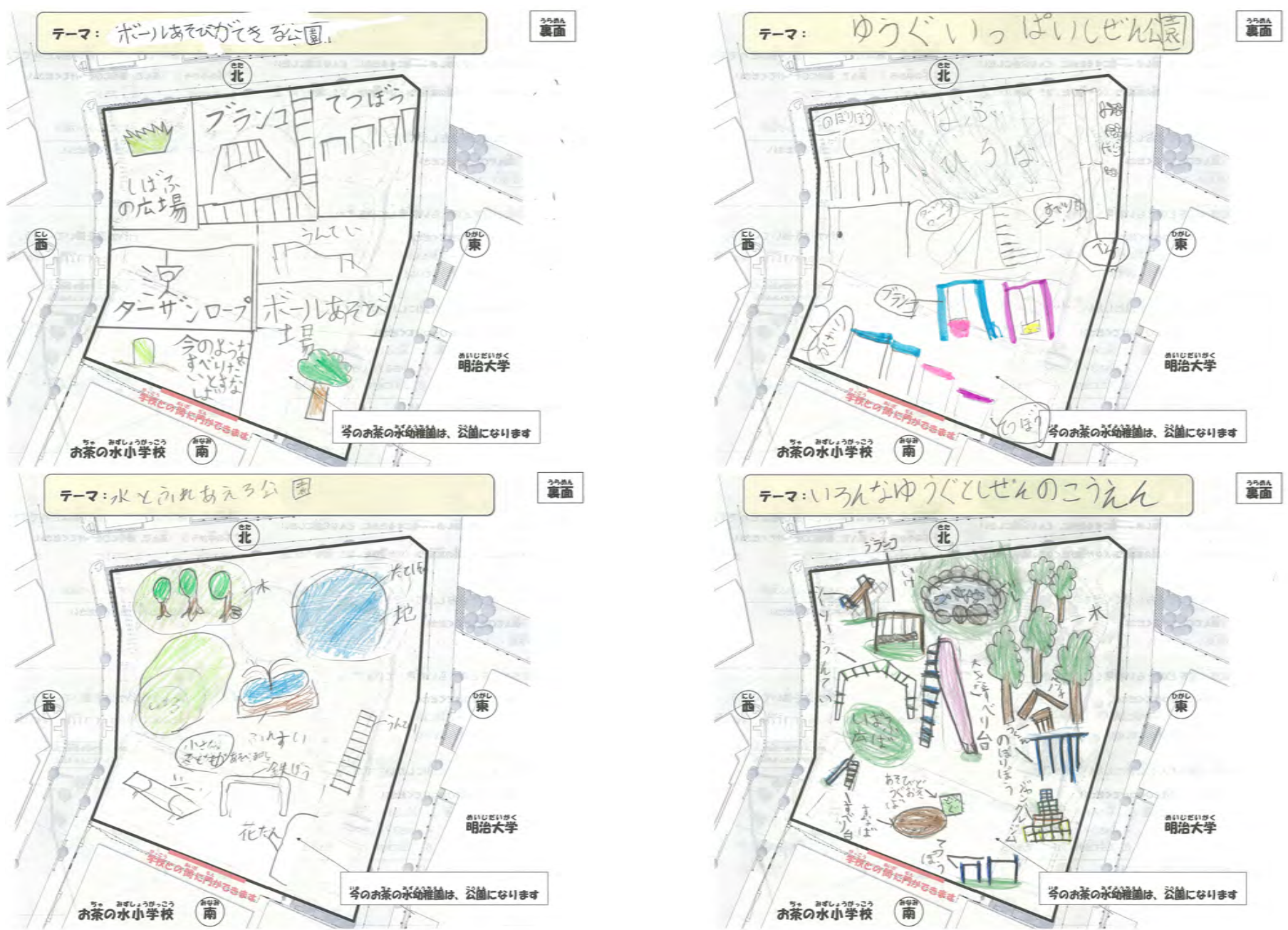
■ 7. その他



こどもアンケート調査結果

対象者：お茶の水小学校・幼稚園児童 回答数 138 通

- Q. 錦華公園にほしい遊び場はなんですか？
→全学年とも“アスレチック遊具”がほしいという意見が多い結果となりました。
- Q. 錦華公園をどのような公園にしたいですか？
→低学年は“遊具で遊べる公園”の意見が多く、高学年になると“水と触れ合う”や“のんびりできる”など多様な意見となっていました。
- Q. 新しい錦華公園を描いてみよう。
→たくさんのこどもたちが、みんなが遊びたくなる公園を色鮮やかに描いてくれました。
(右に絵の一部を紹介します)



第1回意見交換会

日時：令和元年12月16日(月) 18:00～20:00
場所：神保町出張所 座長：東京大学大学院 中井 祐 教授

第1回意見交換会では、4つの班に分かれて以下のテーマについて意見交換を行いました。
○今の錦華公園がどんな場なのか ○将来どんな場になるとよいか ○望ましい場になるためには

全体

● 今のみどりや地形を活かした公園にしてほしい
● 見通しが良く安心安全な公園にしてほしい
● 遊び場や休憩施設を増設してほしい

色分け

良い点
課題
意見要望

斜面地

● 昔から滝や斜面を使って遊んでいた
● 動物や昆虫等の住処となっている
● 今の自然・地形を活かした整備を希望
● できる限りのバリアフリー対策がほしい
● 斜面地を活かした遊び場を整備してほしい

滝・池

● 池は子供たちが生物や自然と触れ合う場
● 流れのない滝はアスレチック的な遊び場
● 水が汚い
● 昔に比べ生物が少ない
● 生物多様性（ビオトープ）にしてほしい
● 滝を復活してほしい
● じゃぶじゃぶ池がほしい

その他

● 花が少ない
● 地域の倉庫を設置してほしい

トイレ

● 汚い、暗い、視認性が悪い
● きれいで安全なトイレがほしい

小学校との連続性

● 小学校との連続性を確保してほしい
● 学校と一体となった防災機能を確保してほしい

広場

● 水はけが悪い
● 遊具を増やしてほしい
● 芝生の部分がほしい
● 幼児が遊べる遊具がほしい
● アスレチックがほしい

ステージ

● たまり場になっている
● ステージでなくても、集まれる場は欲しい
● 屋根のある休憩スペースがほしい



※上図は、意見交換会とアンケート調査の結果をまとめたものです。